

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

リョービ株式会社 広島東工場

(2) 事業所の所在地

広島県府中市鶴飼町800-2

(3) 業種

2434 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実績 排出量 (a)		目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
非エネルギー 起源CO2				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
メタン				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
一酸化二窒素				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
その他 温室効果ガス				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス 実排出量総計				0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
温室効果ガス みなし排出量														
実績に対する自己評 価														

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

加工：切粉重量(t)、鑄造：生産重量(t)、金型：生産重量(t)、  
印刷機(RMGT)：売上高(億円)

温室効果ガスの種類		基準年度の実績 (a)		目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
		平成25年度	平成 32年度	平成28年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度				
エネルギー 起源CO2	加工	14.2862	10.8814	9.7307										
			-23.8	31.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	鑄造	1.0543	0.9320	0.9841										
			-11.6	6.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金型		1.0835	0.7849	0.7775										
			-27.6	28.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
印刷機 (RMGT)	49.8469	24.8655	28.4242											
			-50.1	43.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原単位 (原 油換算kl)		18.35	13	13.33										
			-30.4	27.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する自己評 価	CO2排出比率は、加工=27.2%、鑄造=40.0%、金型=11.8%、印刷機=21.0%であり、原単位の対基準年度比を加重平均すると23.7%の削減となる。原因は、省エネ活動(金型工場空調設備の運用改善等)の効果、および加工、印刷機の原単位の分母となる切粉重量、売上高が対基準年度比で倍増し、生産効率がアップしたためである。													

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料転換 (LPG→電力)	原油換算値で 700KL/年	ガス吸収式冷温水機をパッケージエアコンに変更
2	電力使用量の削減	原油換算値で 13KL/年	保持炉の更新 (2500t-7号)
3	A重油使用量の削減	原油換算値で 10KL/年	アルミ溶解炉 (3号炉) の改修
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。